

令和3年第56回 グループホームまみや地域運営推進会議 議事録

会議日時	令和3年 12月10日(金) 時間 13:00~14:30						
場所	アンシャンテ1階会議室						
議題	1、グループホームまみやの現状報告			2、ヒヤリハット、事故報告		5、その他	
	3、ホームより連絡事項			4、車椅子の選び方・移乗介助			
出席者	ご家族 1名		地域住民代表 1名		市町村職員 1名		町会議員 1名
	民生委員 1名		区長 1名		職員 3名		
ご利用者の状況							合計
	男性 1名		平均年齢 94 歳				男性 1名
	女性 8名		平均年齢 85.8 歳				女性 8名
							年齢 86.7
	介護区分の分布	要支援2 0名	要介護1 0名	要介護2 1名	要介護3 1名	要介護4 3	要介護5 1名
							平均介護度 3.2
1.【入居状況等】							
11月に2名の入居があり満床です。							
2.【ヒヤリハット報告】 20件							
<p>・杖使用者杖なしにて歩行されトイレ前にいた。・全盲者居室のベット上に座っている。・ポケットよりティッシュペーパーがトイレに落ちる・急に膝折れが起こりしゃがみ込みそうになる。・洗濯室、デッキの鍵等を外す。・手の甲にぶつけたような跡がある。・洗面台のハンド ソープで顔を洗っていた。・消毒用の携帯ボトルを開き口に運ぼうとされていた。</p> <p>・ポータブルトイレを自分でセットされていた。・カニューレが浮いた状態だった。・左足の運び悪く左側にふら付く。・他利用者様のおやつを口ににする。・洗面台の前に車椅子で座っていた利用者様を移動しようと言われていた。・キッチン内に入り棚の中の飲料物やIHヒーターの上の鍋に水を入れていた。排泄時ズボンを下げる際ふら付く。・洗面台のタオル掛けが壊れたと言われ持つてくる。・脱衣場の鍵を引き抜き洋服を脱ぎ浴槽に座った状態でいた。・キッチンの3角コーナーに捨てたカステラを手で取ろうとされる。</p> <p>ポケットの中にティッシュを入れている事は女性の方が多い。入れ歯とかもある。しまい忘れてトイレに流してしまう方もいる。小さな物だと飲み込んでしまう事も有るので注意が必要です。私達もよく話を聞く様にしていますが認知症が進むと「判らない」と言う返事がある。その人達の対応は絵・ジェスチャー等で対応している。(職員)</p> <p>前頭側頭型若年性認知症(ピック)に付いての説明を行う。(職員)</p>							
【事故報告】 2件							
<p>・歩行状態が日頃より悪く立位のバランスを維持する事が困難。トイレの位置も把握出来ないが、夜間時排泄がしたくなり自分で対応しようと思い行動された為に、発生した転倒事故</p> <p>改善策・・・排便のコントロールをしっかり行う。(排泄時間や間隔居室の家具等の配位置の検討。センサーマット、ポータブルトイレの検討。</p> <p>・洗濯室の扉より外に出て行かれた離接事故</p> <p>改善策・・・ご本人の居場所・状態の確認、職員間の連携をしっかり行う。緊急時の法人の管理体制を整える。</p> <p>2番目の事故に付いては、函南町に届出をしてあります。</p>							
3.【ホームより報告事項】							
10月 ヘアーカット・芋掘り焼き芋大会							
12月 ヘアーカット・クリスマス会							
10月・11月・12月 社内研修(看取り介護・グループホームの防災に付いて・腰痛、労災に付いて)							
<p>コロナウイルスに対して、統一した会社での対応</p> <p>職員:健康チェックの継続(出勤前・午前・午後検温、体調確認記入)入館時衣服への消毒液の噴射、手指の消毒等。不要時の県外への往来禁止。</p> <p>入居者様の面会は前もった申し出連絡を受け、玄関にて15分間の面会対応。面会者には前もった検温数日・2回のワクチン摂取済みの用紙の提示・面会前に抗原キット検査を行ってきていただく。</p> <p>皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。</p>							

#### 4.【車椅子の選び方・移乗】

車椅子は種類が多く選び方にも難しいが大きく自走型と、介助型に解れる。自走型はタイヤが大きく自分で回せる。介助型はタイヤが小さく持ち運びが楽。自分で操作出来るか出来ないかにより選び方も決まる。(体力のない人は電動式)自分で座っていただけるかどうか→リクライニングシート。座位多様型。(車のシートの様な物。本人に負担なく座っていただける)座面の横には手の平が入る。前には拳1個が入る位の余裕があると良い。背面に座布団を入れると前に滑りにくくなるが座面が小さくなり座りにくくなる。高齢者で1日車椅子で過ごす方が多、右左に傾いてしまう事が起きてきたらリクライニング車椅子を使用した方が良い。自走式の車椅子→主輪が大きく操作輪が付いている為冬コートの巻き込みに注意。又麻痺のある方は手をかばうようにする。\*介護保険を使用せず普通の車椅子をレンタルすると、月3、500円位掛かる又車椅子購入に対し補助金が出るが、業者は定価にて販売する為、業者に直接交渉した方が安く購入出来る事もある\*車椅子の移乗介助を実際行う。その他別紙資料にて説明する。

#### 5.【その他】

グループホームは福祉用具を介護保険で借りる事は出来ない。長く入居されていると状態も低下し福祉用具が必要となって来、ご家族の負担も増える。次回はそんな事も踏まえ会議を行って行きたいと思います。

次回予定

令和4年1月28日(金)時間13:30～

## 車いすの種類と選び方

車いすにはたくさんの種類があります。標準的なものから肘掛けが脱着出来るものや片手で操作できるもの、ベルトがついたものや車輪が6つあるもの、電動車いすなどなど・・・本当に多種多様です。全ての機能には意味があるので、それらを理解し利用者にあったものを選ぶ必要があります。

### ～自走式～

利用者が操作するタイプのものです。

主輪が大きく、操作輪(ハンドリム)が付いているのが特徴です。また、さらに下記の4つの型に分けられます。



標準型



モジュール型(多機能型)

### モジュール型(多機能型)

利用者の体型や目的に応じて前座高や座幅を選択できます。

移乗に便利な各種機能を有しています。

様々なADL状態にもある程度対応することができます

利用者に合わせてフィッティングが可能でリハビリテーションにもオススメです。



座位変換型



特殊型

### 座位変換型

座面だけでなく、背面でも体重を支える構造のため体圧分散能力に優れます。座位変換型は、移乗時に便利な「肘掛け脱着」「肘掛け跳ね上げ」や「脚部スイングアウト(脱着含む)」の機能があり、利用者を助けます。立ち上がり時の転倒事故防止のための自動ブレーキ機能や片マヒの方対応の片手操作のもの、駆動性を高めた

6輪駆動などがあります。片手操作の車いすは、右手操作と左手操作を選択  
できます。

### ～介助式～

介助者が主に操作する介助用タイプです。

主輪が小さく、操作輪（ハンドリム）は付いていません。

また、自走式と同様で下記の4つの型に分けられますが、それぞれ機能が違います。



**標準型**



**モジュール型（多機能型）**



**座位変更型（特殊型）**

操作性の高いドラム式やバンド式の介助者用ブレーキ付きがおすすめです。また、安定座位のためのシートベルト付きのものは、安全面の観点でも安心できます。

#### モジュール型（多機能型）

肘掛け跳ね上げ式は、自走式に比べ後輪が小さいためスムーズな移乗が可能です。脚部スイングアウト式は移乗や前方からの介助者によるケアがしやすく、足漕ぎリハビリにも便利です。

座位変換型の特徴に加え、「麻痺」「嚥下・摂食障害」の方の誤嚥防止の観点で、角度可変式ヘッドレストタイプがよりおすすめです。

コンパクトサイズにおさまる車載搭載型や、公共の乗り物への搭乗を前提とした簡易車いすなどがあります。

#### 各部の名称

介助ブレーキ	スロープなどを降りる際に使用します。
背折れタイプ	スロープなどを降りる際に使用します。
ティッピングレバー	乗り越える際に、介助者が体重をかけ前部を浮かせます。
ハンドリム	自走式車椅子の操作時に使用します。
アームレスト（サポート）	円背の方は肘が外向きになるため幅広が便利です。
サイドガード	車輪への巻き込みや操作時の汚れを防ぎます。
レッグレスト（サポート）	足漕ぎもできるような着脱が可能です。
フットレスト（サポート）	利用者の下肢の長さに合わせて調整ボルトで適切な位置に調整してから使用します。

# 車椅子の選び方

## 種類

### 自走できるか

自分で操作できない人は介助用 自分で操作できる人は自走用、操作できるけど筋力や体力がない人は電動式大きく分けると電動式も含めて自走式と介助式に分けられます

自走用の利点 タイヤが大きく安定している・段差を乗り越える時に楽・プッシュハンドルは付いているので介助用としても使える

介助用の利点 タイヤが小さく比較的コンパクトで軽い・持ち運びに便利・車のトランクなどに入れやすい・狭い場所でも操作しやすい

### 座位が保てるか

リクライニング車椅子 背もたれも大きくヘッドレストも付いているので座位が保て易いバックシートになっている物もある

モジュール型 各部分が取り外せたり角度を変えることができるので症状の変化に合わせてやすい

### 体格に合わせて大きさを決める

ピッタリ背もたれに腰を付けて前のヒザとの隙間に拳が入るぐらい

横はアームレスト（ひじ掛け）との隙間に手の平が入るぐらい

# 移乗介助

## 作業中 東京 北区の事故

2021年11月16日 20時51分

16日午前、東京 北区の住宅地にある解体工事現場で、作業をしていたクレーン車が



突然倒れ逆さまの状態になりました。けが人はいませんでした。が今も撤去されておらず、周辺の10世帯余りが避難する事態となっています。

16日午前10時ごろ、北区赤羽台の住宅地にある解体工事現場で「クレーン車が作業中にひっくり返った」と作業員の男性から110番通報がありました。警察官が現場に駆けつけたところ、住宅地の高台の崖のようにになっている場所で重さおよそ13トンのクレーン車が倒れて逆さまの状態になっていたということです。

**クレーン車の事故ですが介護する方が抱える腰痛と原因は同じです。**

注意して介護しないと私たちの腰もこのクレーン車みたいになってしまいます。

物理の原理が同じと言うことです

**実感してみてください（あなたの腰にも同じことが起きます）**

てこの原理で考えてみます肘が支点。上腕二頭筋が力点げんこつを作用点と考えて実感してみてください。介護するには介助する人に出来るだけ近づいた方が良いこれが介護者側の都合です

**介助を受ける側の事情はどうでしょう**

椅子から立つ動作を解析してみます

立つ前にお尻から足の裏への重心移動が行われます（おじぎをする感じです）

（足を座面に近づけるとより簡単に立てます）

これは前後の重心移動で上下には動きません

介助者は横方向（自分の支点（重心）から遠くなると腰痛の危険がある

介助してもら側は前後に動かないと立つ準備が出来ないってない事になります

おじぎをして重心移動しないと立つ事は出来ません座る時もお内でおじぎをして腰を下げお尻が座面に付くまでは足に重心を置いておかないと尻もち着くように座る事になり腰を痛めます。

**解決するには支点ごと動かせば大丈夫**

と言っても、歩いてしまったら介助中に一時的としても片足で達事になり、バランスを崩しやすくなります。実際に重心移動を体験してみましょう。